



[短編演劇祭特別企画]

歴代王者座談会

劇団怪獣無法地帯+3ペェ団札幌 ELEVEN NINES yhs 星くずロンリネス

星くずロンリネス

[演出家]
上田 龍成
Ryusei Ueda

2010年自らが脚本演出を行なうシアターユニット「星くずロンリネス」結成。大喜利対戦ライブ「札幌オーギリング」の企画・運営など、活動は多岐に渡る。



a / b 「ラッキー・アンハッピー」(2013年) c 「春よ来いマジで本当に頼むから」(2014年)

a / b 「言にくいコトは、」(2015年) c 「キンチョーム」(2014年)



ELEVEN NINES

[演出家・劇作家・役者]
納谷 真大
Masatomo Naya

早稲田大学卒業後、富良野塾を経て様々な劇団に役者として参加。舞台の他にもエッセイなどの執筆、CM、ドラマ、映画、ラジオ等の脚本・出演で活動。



a 「散ル 咲く わらう花」(2013年) b / c 「わらう花」(2008年)

a 「俺はジャッジャー!!」(2011年) b 「クロス」(2010年) c 「サクラダファミリー」(2011年)



yhs

[演出家・劇作家]
南 参
Nanzan

1997年に劇団yhsを結成。世の中のさまざまな物事を独自のユーモアで切り取る脚本と、俳優たちの個性を最大限に活かした演出で評価を受けている。



劇団怪獣無法地帯
+3ペエ団札幌

[演出家・劇作家・役者]
棚田 満
Mitsuru Tanada

怪獣旗揚げで「芝居のべんと箱」所属。ありとあらゆるジャンルの映画をこよなく愛し、ドタバタや西部劇、刑事モノなどベタな展開の王道を得意とする。

KYOBUN THEATRE FESTIVAL 2018
GRAND CHAMPION STAGE
Champion's Table Talk



[短編演劇祭特別企画]

歴代王者座談会

短編演劇祭歴代チャンピオンと齊藤委員長が語る、喜びあり謀反ありの10年間!

台本審査で選ばれた団体が20分間の短編を発表し、審査員と観客が投票によって勝敗を決めるというガチンコバトルスタイルで、数々のドラマを生んできた「短編演劇祭」。これまでの優勝団体は、劇団怪獣無法地帯(2008、2009年)、ELEVEN NINES(2010、2012年)、yhs(2013年)、星くずロンリネス(2014、2017年)、道外から参加の東海連合(2015、2016年)。今年で11年目を迎えるにあたり、特別企画として、札幌勢の歴代チャンピオンと演フェス実行委員長が教文に集結! 悲喜こもごも10年間を振り返ります。

今年で11年目ということで、国内の短編演劇祭の中で古株になりました。

齊藤雅彰(教文演劇フェスティバル実行委員長、以下齊藤) そうですね。元々は、札幌の若手演出家と公募が集まった人たちがそれぞれ作った短編を発表するワークショップを、5年ほどやっていて、ちょうど名古屋の短編演劇祭「劇王」が始まった時で、戦国武将の戦いになぞらえたつくりを札幌でも取り入れたいなと思ったのがきっかけです。1回目(2008年)は劇団怪獣無法地帯+3ペエ団札幌、TBGS、演劇公社ライトマンに頼んで、プチ短編演劇祭という形で3劇団で開催し、2回目(2009年)からは出場者を公募

しました。1回目は観客投票だけ、2回目からは審査員投票も入れてチャンピオンを決めています。

——1回目と2回目です。チャンピオンに輝いたのが劇団怪獣無法地帯+3ペエ団札幌ですね。

棚田満(劇団怪獣無法地帯代表、以下棚田) 1回目はコントはやめてくれと言われて、劇団員の伊藤が書いた「一切笑いのない和風ホラー『わらう花』をやりました。正直、勝つなこれとは思ってなかったんで、2回目は全く別物で、俺が書いたふざけた作品をやって、審査員からは酷評されましたね。

納谷真大(ELEVEN NINES代表、以下納谷) 2回目は、僕自身は短編演劇祭のことを知らなくて、劇団員から「これに出たいから作、演出してほしい」と頼まれたんです。決勝で棚田さん達に負けて悔しかったので、じゃあ3回目は本気でやってみるか。

——ELEVEN NINESは、2010年から3年続けて優勝しました。これはすごい!

納谷 もともと演劇って競い合うものじゃないとわかった上で、競い合う土俵に上がる。僕は戦闘態勢が基本的に好きなので、面白かったし、ムキになったし、演劇でこういう風に熱く競い合うのが面白かった。僕はお客様をたくさん呼べるし、お客様からは評価されるけど、演劇関係者や専

門家は自分らの芝居が好きじゃないだろうなって理解してたんですよ。短編演劇祭は、審査員も観客も同じ1票だったから良かったんですよ。

南参 2回目は審査員の持ち票が観客票より多かったのですが、あまりうまく機能しなかったんです。それで2010年からは、審査員も同じ1票にしようってなった。

納谷 審査員も観客も同じ1票だとすると、僕は優勝できるんですよ。だけど、2013年からルールが変わって審査員の持ち票が多くなり、僕は謀反を起こしたんです。『にせんえん』という喧嘩を売る感じの作品をやって、yhsさんに負けました。

南参 ようやくという感じで、みんなから「短編と言ったらyhsだよ」と言われる中、2009年、2010年、2011年と出場したけど、年々成績が悪くなって。最後の年は予選落ちで、僕もモチベーションが下がって、2012年は出なかつたんです。でも、ELEVEN NINESが3連覇しているってなつて、ぶっ倒したいなと。劇団員とどうやったら勝てるかという会議を開き、台本もどうやったら審査を通るか戦略を練り、上手いこといったなという感じがあった。

団の映像オペで入って。舞台袖でyhsが優勝する瞬間を見て、これなら勝てるかもって思った。僕は2010年に初めて出したけど、結果は全然ダメで。そこからライブハウスや飲食店で短編ばかりやってたんですよ。それで「そろそろこのネタなら勝てるかもな」というのがいくつかできてたので、調子に乗って、勝っちゃったんですよ。

——短編演劇祭、劇団同士が切磋琢磨する場になってますね。

齊藤 大変嬉しいですね。してやっ

——翌2014年は、上田さんが鮮やかにチャンピオンの座を奪取しました。

上田 2013年の時に、僕は別劇

——昨年まで、優勝特典として「劇王」や「神奈川かもめ短編演劇祭」への出場権がありました。

納谷 僕は劇王に3回出させてもらって、そこで生まれた全国の方との交流は今も続いています。特に、劇王で知り合った平塚直隆さん(オイスターズ)は、さっぱり演劇シーズンの演目「12人の怒れる男」にも出てもらってますし、劇王への扉を開けてくれた短編演劇祭には本当に感謝しています。

上田 僕は2015年に「ど・どしのぎ祭(愛知県)」と「劇王天下統一大会」、2016年の「神奈川かもめ短編演劇祭」、2017年の「劇王XIアジア大会」に出場しました。それまで道外での上演を全くしなかったのがなかったので、すごく良い経験だったし、審査員も含め錚々たる人々と交流できたことも良



教文短編演劇祭2015,2016 チャンピオン

東海連合

東海連合とは、劇王天下統一大会2015での上演の為に結成された、劇作家協会東海支部の一連托生ユニット。2015年に「海獣日和」(作:長谷川彩、演出:鹿目由紀)で優勝。2016年も「そして、彼女は」(作:長谷川彩、演出:宮谷達也)で2年連続チャンピオンに輝きました。



[教文演劇フェスティバル事務局 委員長]

齊藤 雅彰 Masaaki Saitoh

劇作家、演出家、俳優。教文演劇フェスティバル委員長。日本劇作家協会北海道支部の支部長。北海道の演劇状況の底上げのため積極的に活動している。

短編演劇祭

SAPPORO SHORT THEATER FESTIVAL

2018.9.8 [土]

14:00開演(13:30開場)

【会場】 札幌市教育文化会館 小ホール

テーマ 『わらう花』

11年目の短編演劇祭は、歴代王者たちの台本審査によって選出された道内外の劇団が、前年度の王者「星くずロンリネス」に挑む!王座を狙うのは「笑の内閣」(京都)、「宇宙空地」(愛知)、「Gフランケン」(札幌)、「秘密結社 デスボルトハリケーン(劇団)」(札幌)。演劇ファンがどよめいた、予測のつかないラインナップによる決戦を見逃すな!

今年の演フェスは本選一発勝負の短編演劇祭、歴代王者によるグランド・チャンピオン・ステージの2本立てという特別仕様!

教文演劇フェスティバル | 2 | 0 | 1 | 8 |

短編演劇祭 | 2018.9.8 [土] | グランド・チャンピオン・ステージ | 2018.9.9 [日]

チケット情報 9/8 短編演劇祭 前売 1,300円(当日 1,800円) ※教文ホールメイトは500円引き 9/9 グランド・チャンピオン・ステージ 前売 2,500円(当日 3,000円) ※教文ホールメイトは500円引き 2日間通し券 3,500円(前売のみ)

歴代王者×降臨—ぶつかり合う王者の威厳—

11年目の特別企画として、教文短編演劇祭王者たちによるエキシビジョンマッチを開催! 優勝作から僅差で敗れた力作まで、過去に話題を呼んだ「あの作品」にもう一度出会えるチャンス! 今年の演フェスは何かが起こるかも!?

劇団怪獣無法地帯 +3ペエ団札幌 『わらう花』 (2008年上演)	ELEVEN NINES 『俺はジャッジャー!!』 (2011年上演)
yhs 『春よ来いマジで本当に頼むから』 (2014年上演)	星くずロンリネス 『キンチョーム』 (2014年上演)

2018.9.9 [sun] 14:00開演(13:30開場)
教文演フェス2018 グランド・チャンピオン・ステージ
【会場】札幌市教育文化会館 小ホール

かった。同世代の人もたくさんいて、みんな面白くて、彼らとは今も交流が続いています。

南参 あ、「どしどし」は僕も行ってますね。短編で呼ばれたけど、僕は劇作家大喜利でチャンピオンになった(笑)。そこで横のつながりもできたし、こういう人たちがいるんだってっていうのは励みになった。あと優勝特典ではないですけど、福島県いわき市で開催された「劇王っぽいII」に呼んでもらって、チャンピオンになりました。「劇王っぽい」は予算の関係で終わっちゃったけど、福島の劇団の方との交流は続いています。

——1回目と2回目は、優勝特典はなかったのですか?

棚田 いや、全くないですから。教文小ホールでの自主企画上演権も、まだなかったし。僕がもらったのは、ロトカードですね。

齊藤 現金は渡せないで、「1000万円くらいが当たるかもしれないチャンス」ということで…。1000枚くらい削ってもらったんだっけ?

棚田 そうですね。みんなで削っては「おいまたはずれたぜ」とか言って、結局10000円もいかなかった記憶が。

——そのほか、チャンピオンになったことでプラスの影響はありましたか?

棚田 『わらう花』を長編化した「散ル咲ク わらう花」を2013

年に上演した時は、「短編演劇祭の優勝作品」ということで、お客さんがいきなり増えて。それは「おー」って思いましたね。それぐらいかな。

納谷 小ホールでの自主企画上演権はありがたかったです。劇団にとっても、劇場費はなかなかの負担なので。2010年に小ホールで『天国の会談』(2004年初演)を再演して、次の年は新作の『サクラダファミリア』をやった。『サクラダファミリア』は、2018年冬の演劇シーズンでも上演しました。これは短編演劇祭で優勝したことによって生まれた作品なので、そういう意味では、短編演劇祭に他の作品さえも育てていただいているという感じはありますね。

南参 やっぱり出合いはうん。最近近道外からの参加チームもあるので、札幌の短編演劇祭でも道外の人たちと交流したり知り合いが増えてきたりというのはあって、だんだん仲間が全国が増えてきて。それがやっぱり、すごくいいと思う。

上田 僕多分、最初の優勝(2014年)がなかったら、星くずでは続けてないかもしれない。割と旗揚げして何年か経って、TGRに出してもダメだし、その年の春に旗揚げした大喜利対決のお笑いライブ「札幌オーギリング」が楽しかったし、芝居で続けなくてもいいかなって思ってた時期だったから、短編演劇祭で優勝してなかったら、続けてなかったかも。

——札幌の演劇シーンにおいて、短編演劇祭はどのような役割を果たしていると思いますか?

上田 お芝居観たことない人に「短編演劇祭の大会で優勝してさ」って話すと、「おお、そんなのやってるんだってなるんですけどね。一挙に複数観れる短編だと、「面白いものが観れるかも」って誘いやすい。お芝居好きな人にももちろん観てほしいけど、初心者の人が観るのに良い場なんじゃないかな。しかも、自分が投票する参加型なのがすごく良い。

南参 審査をやった側からすると、こういう劇団があるんだなって、審査員としても出合いの場になってくる。あと、もともと僕が短編からスタートしたのは、ハリウッドには短編映画を作ってから徐々に長編に挑戦していくシステムがあると聞いたからなんです。短編がまとまるとということ、長編も面白いてこと。短編だけが面白いては、あまりない気がする。

納谷 僕は競い合うことが面白いと思う。演劇って、劇団が自分たちのお客さんと呼んでやっていると、どうしても手前味噌になりがちだけど、短編演劇祭は同じ土俵で他の劇団と面と向かって戦える。その時は割とピリピリするけど、その方が活性化化すると思う。さっき(上田)龍ちゃんが言ってたけど、「これなら勝てるんじゃないか」っていうのが若者を育てていくんですよ。出て負けたら悔しいから、「じゃあ次こそは」って。

棚田 「他の人たちがどんな風に乗ってやるのか」という、作り手としての興味はありますね。20分間に、どのくらい凝縮して作るのかが面白い。

——台本審査では、どのようなところを見るのですか?

棚田 台本審査は、ある程度は読み物として読めますよ。それから「これが舞台になったらどうなる?」って考える。

齊藤 戯曲コンクールの審査じゃないので、「これを舞台で観たいと思うものを、自分の尺度で選んでください」と審査員にはお伝えしています。

——今年は従来の短編演劇祭の他に、過去の優勝劇団が出品作を再演するグランド・チャンピオン・ステージも開催します。

齊藤 短編演劇祭はこれまでマイナーチェンジをしながらやってきたけど、今後どんな方向に行ったらいいのか、こういう戦い方でいいのか、いろいろ見直したいなと思って模索しているところです。「グランド・チャンピオン・ステージ」については、来場者アンケートでも要望があったので。ぜひお客さんに10年間の成果を見てもらいたいですね。

——では最後に、「グランド・チャンピオン・ステージ」について、読者にメッセージをお願いします。

棚田 僕たちは『わらう花』をやり

ます。見応えのあるものになりますので、ぜひ観に来てください。自信はあります。

納谷 『俺はジャッジャー!!』(2011年優勝作)をやります。5年以上前の作品なので、自分的に気恥ずかしさのある作品ですが、それを今、50歳目の僕が演じます。納谷40代最後の作品となりますので、楽しみにしてください。

南参 僕は2014年の『春よ来いマジで本当に頼むから』という星くずに僅差で負けた作品をするのですが…。

上田 そうそう、さっき優勝したみたいな空気を出したんですけど、僅差です。お詫びしておきます。

南参 あえて負けた作品でやりますが、初演時と違って自分も出るし、劇団の新人達も出演しますので、そのお披露目として気軽に来てもらえればと思います。

上田 僕は『キンチョーム』(2014年優勝作)を上演します。短編演劇祭は、割と若手中堅の大会みたいになりつつあるんですけど、今王座を目指してる人たちが、王者によるグランドの方を見比べたいので、ぜひ2日間とも来てください。

齊藤 グランドは短編演劇祭の歴史そのもの、集大成ですから。11年目の集大成として、グランドを堪能してもらいたいですね。前日の方は「11年目の短編演劇祭はこのように頑張ってますよ」という若い人たちの挑戦を見てほしいです。

札幌演劇

[まるわかりガイド]

教文演劇
フェスティバル

教文演劇 フェスティバル

8~9月

札幌市教育文化会館で開催されている演劇の祭典。メインプログラムの「短編演劇祭」は、道内外で活躍する劇団やユニットが20分の短編作品を上演。お手軽な価格でいろんな劇団の作品を一度に楽しめるので、「演劇には興味があるけど、どの劇団を観に行けばいいかわからない…」という人にもおすすめです。最後は、観客と審査員による投票で優勝劇団が決定。会場も巻き込んだ熱い戦いを、ぜひ目撃して。



札幌演劇シーズン

2018-夏- 2019-冬-

7~8月 1~2月

1カ月に渡って、札幌市教育文化会館を含む複数の劇場でロングラン公演を行う演劇シーズン(夏と冬に開催)。上演されるのは、札幌で過去に上演され、高い評価を獲得した作品だ。平日の夜公演は、仕事帰りや学校帰りに気軽に立ち寄れると好評。公式サイトには劇の感想コーナー「ゲキカン!」があり、自身の感想と比べてみるのも楽しい。名作と何度でも出会える「演劇の季節」を楽しんで。

TGR

札幌劇場祭 Theater Go Round

11月

毎年11月の1カ月間に渡って開催される「札幌劇場祭 Theater Go Round(TGR)」。市内10劇場が参加し、演劇、お笑い、オペラ、人形劇など、これぞと思う作品を上演し企画を競い合う劇場の祭典だ。札幌市教育文化会館では、期間中に北海道中学生演劇発表大会も開催。全道からの参加校の作品を楽しむことができる。劇場ごとのカラーを楽しみながら、自分好みの作品に出会える「晶頂の劇場」を見つけよう。

中文連演劇発表大会

7~8月

札幌市教育文化会館小ホールを会場に、札幌市内の中学校演劇部が作品を上演。大会に先駆けて開催される演劇ワークショップで、札幌市内で活躍する演出家や俳優から直接指導を受けるなど、1年に渡って練習に励んできた中学生の発表の場だ。「教文小ホール」は演劇部の中学生にとって甲子園のような場所。開会式で披露される群読も胸を打つ。入場無料なので、足を運んでみて。

高文連石狩支部 高校演劇発表大会

9~10月

札幌市教育文化会館小ホールを会場に、札幌市内近郊にある約40校もの高校演劇部が、6日間に渡って上演。全道大会への出場を目指して、熱演を繰り広げる。なんと2018年は、全道大会も札幌開催なのが嬉しいところ。北海道ブロックは全国大会での受賞も多く、レベルの高さに定評があることから、こちらも要チェックだ。

[札幌演劇カレンダー 2018~2019]

SAPPORO THEATER CALENDAR 2018-2019

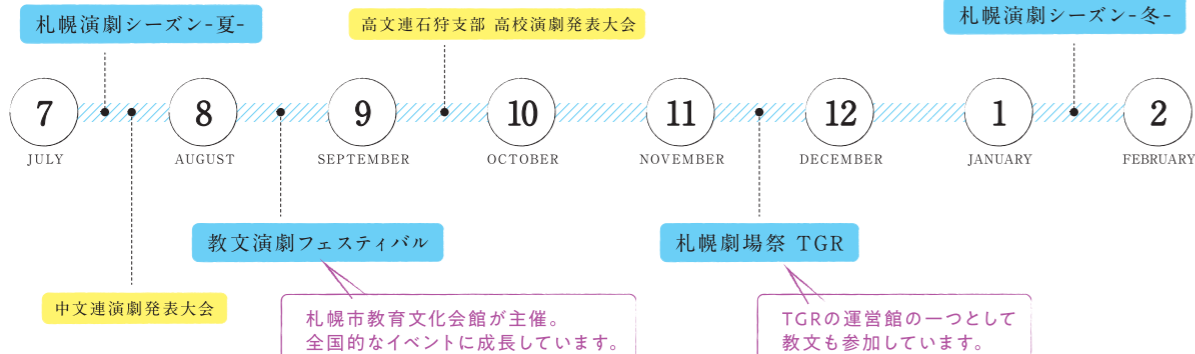
札幌は、夏から冬まで演劇イベントがズラリ。

中高生も大人も頑張ってます!

気になる演目は公式サイトをチェック!

教文より、創作・脚本賞(館長賞)、舞台技術賞(財団賞)を授与しています。

来年の演劇シーズンは劇団千年王国が上演予定。



演劇

さっぽろ

のわ



表方スタッフ

お客様が気持ちよく芝居に入り込めるよう
役者にバトンを渡す。

[プロフィール]
左から

竹内麻希子 (CAPSULE 制作)

ウメツケンイチ (ex.fiction)

佐藤紫穂 (ex.fiction)

水戸もえみ (yhs 制作)

教文の公演をはじめ、様々な現場で引張りだこの4人。「この人見たことある!」と思う読者も多いのでは? yhsの公演で4人揃って表方をした時の連絡用ライングループが、そのまま飲み会連絡用になり、さらにそこでお互いがスタッフを集めるようになったそう、4人が顔を合わせると常に「~日って空いてる?」とスケジュール調整が始まるのだとか。

「制作」と呼ばれる仕事の中で公演当日の受付業務(受付会計や会場案内)を行うのが「表方(おもてかた)」と呼ばれるスタッフです。今回お写真に登場いただいた4人は、札幌で引張りだいたこのベテランさん。多忙な彼らの「表方事情」を探るべく、フリーのスタッフチーム「ex.fiction」の佐藤紫穂さん、ウメツケンイチさんにインタビュー!

— お二人が表方をするようになった経緯を教えてください。

佐藤 私には劇団に所属している頃から、他劇団の依頼を受けて表方することが多くて。団体ごとのカラーがあって面白かったし、自分の糧にもなるので、関わる団体をもっと増やしたいと思って、2008年にフリーになりました。そのうち制作全般より、表方の仕事が一気に増えた感じでした。

ウメツ 私は大学時代に役者をしていましたが、卒業後、仕事をしながらでもやりやすかったのが、当日現場に行く表方でした。今も役者は続けていますが、表方の依頼が多いです。表方をしてる時に面識のきたお客様が、自分が出演する芝居を見に来てくれることもあって、そういうのは嬉しいです。

— 表方の面白さは?

ウメツ 場内整理でお客様を上手に誘導し、席を満遍なく埋めることができた時。

佐藤 それ、すごいわかる(笑)。あと、お客様が気持ちよくお芝居に入り込めるように役者にバ

トンを渡すのが表方の仕事でもあるので、お客様との接し方など工夫していることはいろいろあります。

— TGR期間中は毎週末現場に入る感じですか?

ウメツ TGR期間中は、1日に2つの現場をハシゴすることもあります。

佐藤 でも、公演期間が1週間ある演劇シーズンの方が、TGRより忙しく感じるかも。水戸さんや竹内さんは所属劇団の制作チームも務めていますし、お互い「この現場に何人ほしい」と要望を出し合ってます。ジュール調整をしています。我々はそれをドラフト会議と呼んでいるのですが(笑)。

— 今後の目標を教えてください。

ウメツ 全体的に表方は人手不足です。受付マニュアルを作ったネットでも公開したりもしていますが、今後はex.fictionが表方を希望する人の窓口になって、スタッフ人口を増やしていければ。

佐藤 表方は最初にお客様に会うポジションなので、実は重要。少しでもお芝居に関わりたいと思ってる人は、ぜひex.fictionまでご連絡を!

[受付スタッフマニュアル]
ツイッターで
#演劇受付マニュアル
で検索!

※「表方、やってみたいかも!」と思った方は、こちらまで! ex.fiction.sap@gmail.com (担当:ウメツ)